

部 会 名 称	押出加工中の溶着制御技術検討研究部会
部 会 長 候 補	星野 倫彦（日本大学理工学部）
研 究 の 要 旨	アルミニウム合金押出型材に対する断面形状複雑化の要望に対してホローダイスを適切に設計しなければならないが、チャンバー内で流動を制御する技術が十分ではない。特に溶着部の欠陥を予測し制御することが必要であるが、生産現場での試行錯誤に頼っている部分がある。また、押出合金の6000系だけでなく7000系合金に対しては基礎的データが不十分だと思われる。そこで、6063合金でポートやチャンバー形状が溶着状態に与える影響を分析するとともに、7003や7N01合金での溶着不良となる流動状態の調査を行う。明らかとなった溶着制御技術は、スクラップを素材とするリサイクル押出にも適用することも試みる。
活 動 内 容	<ol style="list-style-type: none"> (1) 6063 アルミニウム合金押出材の溶着不良の分析 (2) 7003 および7N01 アルミニウム合金の溶着状態の基礎実験 (3) アルミニウム合金のリサイクル押出実験 (4) 上記押出実験の数値シミュレーション
参 加 メ ン バ ー	大学・公立研究開発法人関係者、アルミニウム押出メーカー
研 究 期 間	4年間
開 設 予 定 年 月	2024年4月
運 営 費	<p>参加企業1社あたり年会費10万円（消費税込）</p> <p>※大学・公立研究開発法人関係者の参加費は無料。</p> <p>ただし、軽金属学会会員になることを要す。</p>
問 合 ・ 申 込 先	<p>長岡技術科学大学工学部 機械系 材料システム講座 本間 智之</p> <p>Tel: 0258-47-9760 Fax: 0258-47-9770 E-mail: thomma@mech.nagaokaut.ac.jp</p>